

自己評価の視点	気付いたこと・課題
I 保育理念	<ul style="list-style-type: none"> ・理念の中で特に大事に思っている「だいじょうぶ」。安心できる環境作りについては、園長・副園長・主幹教諭との話し合いを行うことで他の職員にも共通理解ができるよう働きかけを行った。その結果全職員の理念の意識付けは出来ていた。 ・地域への保育理念等の周知については、不十分だと思う。しかし、園での取り組みを身近な方に発信する工夫は出来たので引き続き取り組みたい ・明るくて安心できる場所作り、一人ひとりの子どもの思いを大切にということを常に意識しより良い園作りをしていきたい。
II 子どもの発達援助	<ul style="list-style-type: none"> ・職員と子どもたちとのかわりが子どもたちにとって大切な人的環境と考えている。また、自然に恵まれている園の環境も子どもたちにとって大切なものと感じている。築山の整備等に取り組んだことで子どもの遊びが広がったのではと思う。遊びの中での学びの大切さを意識することでもっといろんな体験・経験ができるのではないかと思う。園にいる全ての子どもが心地良く過ごすことのできる環境作りに取り組んでいきたい。
III 保護者に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳以上児の全員、0,1,2歳児においては希望者を対象に個別面談の実施や保護者アンケートを通し保護者の想いと園の想いの共通理解に取り組んだ。必要に応じ、保護者会役員との密な話し合いも行き行事運営もスムーズに行えた。 ・保護者のプライバシーを守りながら、こまめな声掛けや配慮を心がけ話しやすい環境作りに取り組んだ。いろんな意見を保護者から聞けるようになったのでそれを活かして今後の園作りしていきたい。 ・コドモンというアプリの導入で日頃の保育の様子を伝えた。そうすることで家庭との子育ての楽しさを共有できるようにしていきたい。
IV 保育を支える組織的基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・恵まれた環境のもと、園児の健康増進や食育の取り組みは充実している。 ・災害発生時の対応も訓練時より真剣に取り組んでおり、命を守る対策を心がけている。今後、地域の方との連携を深めていきたい。 ・質の向上として自己評価を取りくんでいる。園の改善点とその対策、様々な共通理解すべきことなどについての職員間での話し合いが必要だと感じている。意見のしやすい話し合いの場を設けていくことがより良い園作りにもつながると強く思っている。